



平成25年度 特集展示(会期：平成26年1月5日(日)～3月2日(日))  
新春午歳企画・福岡県の装飾古墳②

## 馬～館蔵品から～

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

### はじめに

平成26年(2014)の干支は午です。当館では、12年に一度の午歳<sup>えと</sup>の到来を祝って、馬にまつわるささやかな特集展示を企画しました。九州歴史資料館の所蔵・保管品の中から馬に関する資料約20点を展示します。

ここでは、展示資料の紹介と解説を行います。

### 1 馬形埴輪

朝倉市(伝)鬼の枕古墳出土  
古墳時代(6世紀)  
福岡県立朝倉高等学校所蔵

鬼の枕古墳は、朝倉市菩提寺の甘木公園に所在する全長約50m強の前方後円墳です。この資料は、鬼の枕古墳から出土したと伝えられる馬形埴輪の頭部および首の部分の破片で、目と鼻は穴をあけて表現しています。馬具の表現は僅かに認められるのみですが、その痕跡から轡<sup>つわ</sup>などを装着していたことがわかります。

### 2 土馬

太宰府市大宰府政庁跡周辺官衙跡出土  
飛鳥時代(7世紀)  
九州歴史資料館所蔵

土馬は古墳時代から古代にかけて作られた粘土製の小型の土製品です。祭祀などに用いられたものが大半であり、ほとんどは割れたり、脚などが欠けた状態で

出土します。この資料も折損しています。本資料以外にも、朝倉市宮原遺跡、飯塚市井手ヶ浦窯跡群出土資料を展示します。

### 3 馬の全身骨格

行橋市延永ヤヨミ園遺跡出土  
奈良時代(8世紀)  
九州歴史資料館所蔵

井戸の中から発見された馬の全身の骨格です。井戸の中から解体されず、そのままの状態で見つかりました。全身120～130cm、16歳くらいのオスと推定されます。薄い肋骨などは残ってはいませんでした。それ以外の大半の骨は確認することができました。左前肢にけがの痕跡が見られます。雨乞いなど、井戸の祭祀に関するものでしょうか。



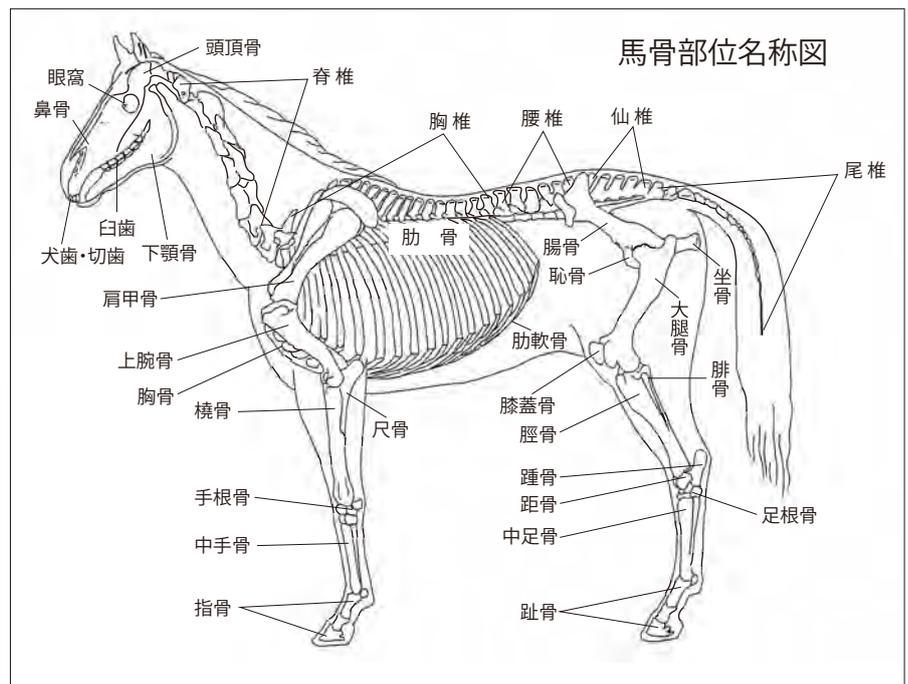
延永ヤヨミ園遺跡  
馬骨出土状況



馬形埴輪



土馬



(松井章2008『動物考古学』掲載図を改変して作成)

## 4 馬を描いた装飾壁画古墳

九州の横穴式石室の古墳には、内部の壁面に装飾絵画を描く古墳が数多く見られます。それらの中には、鳥や馬などの動物を描くものがあります。中でも宮若市の竹原古墳は、奥壁の鏡石に、船や波などと共に人物に引かれた馬が大きく黒色で描かれています。本展では、このほか五郎山古墳(筑紫野市)、王塚古墳(嘉穂郡桂川町)、田代大塚古墳(佐賀県鳥栖市)、ランドヤ古墳(大分県日田市)の古墳壁画を写真パネルで展示しています。

## 5 江戸時代の鞍と鏡

くら あぶみ

今村家資料

江戸時代

九州歴史資料館所蔵

今村家は柳川藩士の家筋で、旧今村家所蔵品の中には、馬に装着した馬具類が残されています。

鞍は、騎乗者が馬に腰を掛ける台で、黒漆塗りで金銀蒔絵や螺鈿などのきらびやかな装飾を施しています。鏡は鉄製の重量のあるもので、表面は黒漆塗り、内面(踏込)は朱漆で豪華に装飾されています。正面(鳩胸)には金泥で今村家家紋の左巻きの三巴紋がみられます。また他にも、馬飾や障泥などもあり、これら一括された馬具は、晴れの場で馬を着飾ったものと考えられます。

## 6 馬が登場する絵はがき

当館は、福岡県を中心とした明治時代以降の絵はがきを所蔵していますが、それらの中には馬が登場するものがいくつか見られます。これらの他、炭鉱で働く馬や陸軍大演習時の軍馬の絵はがきも展示します。

### (1) 博多どんたく松囃子の馬

博多の春を代表する歳時「博多どんたく」。招魂祭当日の松囃子において、笠鉾の前を練り歩く福神は馬に乗っています。その様子は写真やイラストで絵はがきにされています。福神の乗る馬は、写真ではわかりにくいですがイラストにははっきりと描かれています。

### (2) 筑前野北牧場と馬

糸島地方(福岡県糸島市)の名所旧跡を紹介する絵はがきのうちの一枚です。糸島市野北にあった野北牧場は、江戸時代以来の馬の放牧地で、写真にも牧場内で草を食む多くの馬が写し出されています。

### (3) 『皇軍慰問絵葉書』に描かれた馬

東京九段の愛国婦人会によって発行されたもので、白黒写真に彩色を加えています。農業生産の象徴として馬を引く娘の姿が写されます。どこかのどかな雰囲気から日中戦争開始前後頃のものだと推測されます。

(学芸調査室 岡寺 良)



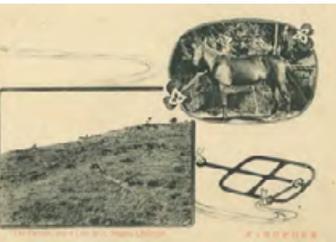
竹原古墳装飾壁画



鞍と鏡(今村家資料)



「博多どんたく松囃子」絵はがき



「筑前野北牧場と馬」絵はがき



皇軍慰問絵葉書



編集

発行: 平成26年 1月 5日

九州歴史資料館  
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3  
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834  
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>